医療の質測定　定義書

更新日：2024 年 9 月 13 日

基本情報

指標番号
2128

名称
経口第 3 世代セフェム処方が経口抗菌薬全体に占める割合

分母
外来にて経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日

分子
外来にて経口第 3 世代セフェム処方の含まれる処方が実施された人日

指標群
感染症

意義
経口第 3 世代セフェムの削減は、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの目標項目である。2020 年までに（2013 年比）50%削減が成果指標として掲げられている。

年度
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022,2024

必要データセット
外来 EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義
1. 外来 EF ファイルより、経口抗菌薬（抗ウイルス薬、抗真菌薬を除く）の含まれる処方が実施された人日を算出する。　1 日に複数の種類（例：セフェム系経口抗菌薬とカルバペネム系経口抗菌薬）の処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日とする。

薬価基準コード 7 桁	成分名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024
6111002	ベンジルペニシリンベンザチン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6112001	クリンダマイシン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6112003	リンコマイシン塩酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6113001	バンコマイシン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6119001	フィダキソマイシン	内服薬					○	○	○	○
6121001	ピブメシリナム塩酸塩	内服薬	○	○	○					
6123003	カナマイシン一硫酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6125001	コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6126001	ポリミキシンＢ硫酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6129001	セフチブテン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○		
6131001	アモキシシリン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6131002	アンピシリン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6131004	バカンピシリン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6131005	シクラシリン	内服薬	○							

京都大学
©1996-2024　京都大学医療経済学分野

医療の質測定　定義書

更新日：2024 年 9 月 13 日

薬価基準コード 7 桁	成分名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024
6131008	スルタミシリントシル酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132001	セファトリジンプロピレングリコール	内服薬	○							
6132002	セファレキシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132005	セファクロル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132006	セフロキサジン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132007	セファドロキシル	内服薬	○							
6132008	セフィキシム	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132009	セフテラム　ピボキシル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132010	セフロキシム　アキセチル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム　プロキセチル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132012	セフォチアム　ヘキセチル塩酸塩	内服薬	○	○	○	○				
6132013	セフジニル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132015	セフジトレン　ピボキシル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132016	セフカペン　ピボキシル塩酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6135001	ホスホマイシンカルシウム水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6139001	ファロペネムナトリウム水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6139002	テビペネム　ピボキシル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6139100	アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6141001	エリスロマイシンエチルコハク酸エステル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6141002	エリスロマイシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6141004	エリスロマイシンステアリン酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6142001	スピラマイシン酢酸エステル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6145001	ジョサマイシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	
6145002	ジョサマイシンプロピオン酸エステル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	
6146001	ミデカマイシン	内服薬	○							
6146002	酢酸ミデカマイシン	内服薬	○							
6149001	ロキタマイシン	内服薬	○	○	○					
6149002	ロキシスロマイシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6149003	クラリスロマイシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6149004	アジスロマイシン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6149005	テリスロマイシン	内服薬	○							
6151001	クロラムフェニコール	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6151002	パルミチン酸クロラムフェニコール	内服薬	○							
6152002	テトラサイクリン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○

京都大学
©1996-2024　京都大学医療経済学分野

更新日：2024 年 9 月 13 日

薬価基準コード 7 桁	成分名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024
6152003	デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6152004	ドキシサイクリン塩酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6152005	ミノサイクリン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6191001	アンピシリン水和物・クロキサシリンナトリウム水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6199001	リファキシミン	内服薬				○	○	○	○	○
6212002	スルファメトキサゾール	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6213001	スルファジメトキシン	内服薬	○	○	○	○				
6219001	サラゾスルファピリジン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6219002	スルファメチゾール	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6222006	デラマニド	内服薬			○	○	○	○	○	○
6241001	ナリジクス酸	内服薬	○	○	○	○				
6241002	ピペミド酸水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241003	ピロミド酸	内服薬	○							
6241004	シノキサシン	内服薬	○	○	○					
6241005	ノルフロキサシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241006	オフロキサシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241007	エノキサシン	内服薬	○							
6241008	シプロフロキサシン塩酸塩	内服薬					○	○	○	○
6241008	塩酸シプロフロキサシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241009	塩酸ロメフロキサシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241010	トスフロキサシントシル酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241011	スパルフロキサシン	内服薬	○							
6241013	レボフロキサシン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241015	プルリフロキサシン	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241016	モキシフロキサシン塩酸塩	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241017	メシル酸ガレノキサシン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241018	シタフロキサシン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6241019	ラスクフロキサシン塩酸塩	内服薬					○	○	○	○
6249002	リネゾリド	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6249003	テジゾリドリン酸エステル	内服薬					○	○	○	○
6290100	スルファメトキサゾール・トリメトプリム	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6419006	スピラマイシン	内服薬					○	○	○	○

2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 外来 EF ファイルより、経口第 3 世代セフェムの含まれる処方が実施された人日を算出する。1 日に複数の薬剤処方や複数回の処方が見られた場合も 1 人日で集約する。

京都大学
©1996-2024　京都大学医療経済学分野

更新日：2024 年 9 月 13 日

薬価基準コード 7 桁	成分名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024
6129001	セフチブテン水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○		
6132008	セフィキシム	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132009	セフテラム　ピボキシル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132011	セフポドキシム　プロキセチル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132013	セフジニル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132015	セフジトレン　ピボキシル	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○
6132016	セフカペン　ピボキシル塩酸塩水和物	内服薬	○	○	○	○	○	○	○	○

その他

薬剤一覧の出力
はい

リスク調整因子の条件

指標の算出方法
分子÷分母

指標の単位
日

結果提示時の並び順
昇順

測定上の限界・解釈上の注意
1. 投与量が十分であれば適正使用となることもあるが、ごく稀と考えられ、基本的に目標値はゼロである。

参考資料

参考値
1. 経口抗菌薬全体の 22%が第 3 世代セフェム 2）

参考資料
1. 薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン　https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000120769.pdf
2. 藤田基資. 5 年で 50%？ 経口セフェムは削減できるか？. 小児感染免疫. 2016;28(4):302-310. http://www.jspid.jp/journal/full/02804/028040302.pdf.

京都大学
©1996-2024　京都大学医療経済学分野